

【関係法令等】

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・東京都教育委員会教育目標
- ・練馬区教育委員会教育目標

【学校の教育目標】

子どもたちが、心身ともに健康で、知性と感性に富み、国際社会において尊敬と信頼を得られる豊かな人間性とたくましさを培うことを願い、次の目標を設定する。

「心豊かでたくましい子を育てる」

〈教育目標具現化のための具体的目標〉

- 思いやりのある子
- すすんで学ぶ子
- さいごまでやりぬく子
- じょうぶな体をもった子

【子どもの実態】

- ・素直でやさしい
- ・明るくのびのびしている

【保護者・地域の願い】

- ・心身共に健康な子
- ・仲良く助け合う子
- ・思いやりのある子
- ・積極的に活動する子
- ・基礎学力の定着

【学校経営方針の学力向上にかかわる要点】

教育目標を達成するための基本方針として、基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上を図る。

- 学力調査の実施・分析に基づき、児童一人一人の課題とその解決を明確にし、授業改善を推進する。
- 基礎的・基本的内容を確実に定着させ、資質や能力の伸長に努める。
- 自ら学び・考え・判断し、表現できる能力や行動する力を培う。

また、特色ある学校づくりに向けて、生きる力を育む授業を創造し、確かな学力を身に付けさせる。

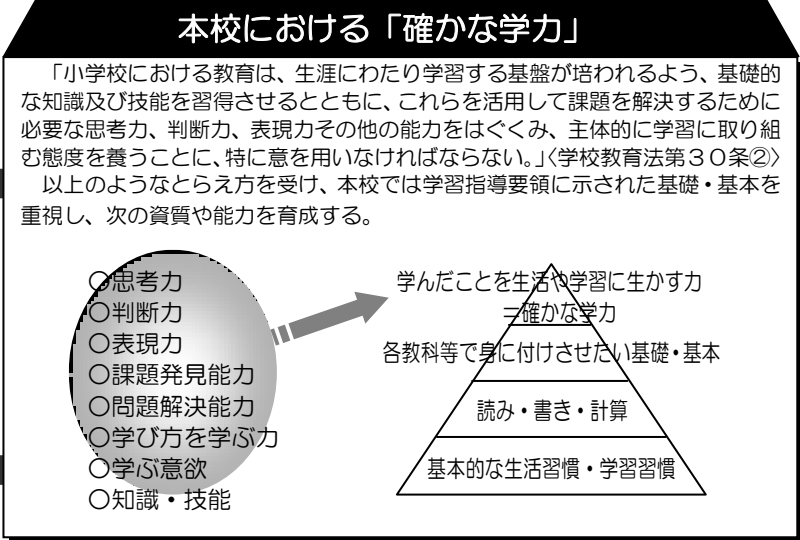
- 「わかる」授業を推進し、確かな学力の定着と向上を図る。
- 保護者・地域社会の協力を得ながら授業改善を行い、生きる力を育む授業を創造する。

各教科・外国語活動の指導の重点

- 学習指導要領の理念の具現化を図り、指導内容の明確化と計画的指導を推進する。
- 児童の実態や発達段階を正しくとらえ、それに基づいた教材・指導法を工夫するとともに、学習過程を大事にし、児童の意欲的な学習活動を促す。

総合的な学習の指導の重点

- 豊かなかかわり合いを重視し、地域の人材や環境を学習活動に生かす。
- 計画的・継続的な体験活動や多様な学習活動を通して、自ら問題を解決する力を育て、自己の生き方が考えられる児童を育てる。



進路指導の重点

- 一人一人が自分のよさや能力に気づくため、教育相談的手法も取り入れ、自己の可能性を追求する態度を身に付けさせ、自己実現の達成を図る。

生活指導の重点

- 児童の生活規範を徹底させるため、月ごと、週ごとの焦点化した目標を設定し、全教職員の共通理解のもと指導を進め、集団での望ましい生活習慣を養う。

道徳教育の指導の重点

- 全体構想図に基づき、教育活動全体を通して道徳教育の充実を図る。
- 年間計画を基に授業を充実させ、児童の道徳的心情を豊かにするとともに道徳的判断力を高め、実践意欲の向上を図る。
- 道徳授業地区公開講座を開き、道徳教育のあり方や家庭・地域社会との連携などについて、相互に理解を深める。

特別活動の指導の重点

- 望ましい集団生活を通して自主的・実践的な態度を育てる。
- 児童個々に学級集団、学習集団の一員としての自覚を深めさせ、協力してよりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた指導の充実 ・少人数指導、学力向上支援講師の配置 ・学年などでの合同学習 ・T.T.などの導入 ○体験活動や学習支援ボランティアの積極的な導入 ○週ごとの指導計画等を活用した意図的・計画的指導の徹底 ○授業改善推進プランの改善・充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業時数確保の工夫 ・火曜時程、水曜時程、土曜時程の設定 ○学校行事等との関連を図った学習単元の工夫 ○年2回の読書旬間の設定 ・全校朝読書時間の実施 ・図書室利用時間の拡大 ○ICT教育の充実 ○外国語活動に慣れ親しめるように、1～4年の学習活動の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○低・中・高学年の3分科会構成による研究授業の実施と全教員の公開授業 ○各学年から「言葉の力」を高めるための提案授業 ○指導力の向上のため講師を招いての実技研修実施 ○授業研究会への外部講師の招聘 ○新規採用者等の校内研修を活用した全教員の授業公開・相互交流の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○通知表の改善 ・各教科の観点別学習状況の評価項目の確認・改善 ・各教科の観点別学習状況の評価基準の確認・改善 ○指導と評価の計画の作成 ・全教科・全単元の指導計画・評価計画の作成 ○学習のPDCAサイクルを学期毎に行い、学力の定着・向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間4回の学校公開と道徳授業地区公開講座等の実施 ○学校評議委員会・学校関係者評価委員会の活用 ○ゲストティーチャーや学習支援ボランティアの積極的な導入 ○「つなごう 手と心」の交流学習・体験学習を推進し、共に生きる力や思いやりの心をはぐくむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間2回の校区別協議会における協議内容の活用 ○中一ギャップ解消に向けたアンケート調査と分析 ○小一問題解消に向け、幼保小との連携 ○6年生の関中学校・上石神井中学校への学校訪問や出前授業等の体験授業 ○関中学校・上石中の海外派遣生徒の講演会等